

中央大学学員会 第49号
49年白門会会報

東京都港区南麻布3-11-41 ロイヤルシーズン南麻布501

発行日	2024(令和6)年12月14日
発行人	山崎厚太
編集人	大竹力三
発行所	中央大学学生会49年白門会
印刷所	(有)東光美術印刷

49年白門会のホームページ ➡ <http://www.gakuinkai.com/hakumon49/>

49会のホームページから「会員の部屋」に入る際のユーザー名は49nen、パスワードはhakumonです。

49年白門会のメールアドレス ➡ hakumon49@gakuinkai.com

会員の皆様の登録・変更をお願いします。PC、携帯でも可能です。

C O N T E N T S

- 1～3 ページ ★2024年総会・懇親会
4～5 ページ ★2024年総会についてと決定議案
6～7 ページ ★同好会レポート ★デイトライトの会 ★囲碁将棋の会
★箱根駅伝予選会 ★歩こー(る)会 ★ゴルフ会
8 ページ ★友へのメッセージ 古木進一 ★楽苦我喜 宮川保
9 ページ ★チコちゃんのうちあけ話 その10 葛西聖司
10～15 ページ ★格闘技観戦顛末記 成毛誠 ★私の中国見聞録 木村真
★64歳になったら 伊藤公雄 ★自然に身を置いて 阿部繁
★退職後の夢の生活 渡邊秀和 ★競馬を丸ごと楽しむ
宮川保 ★『白門お友達の会』のみんな元気？ 高宮洋
★駿河台校舎は大学の典型？ 新谷真人 ★友の墓参り
橋本美文 ★少子高齢化社会を乗り切ろう 大谷洋一
★息子が結婚しました 黒木兼一郎 ★編集人のつぶやき
大竹力三
16 ページ ★2025年新年会のお知らせ ★広告募集 ★編集後記

16ページ

★2025年新年会のお知らせ ★広告募集 ★編集後記

2024年7月6日(土) 於・ダイニングカフェ エスペリア
卒業50周年記念総会には
最多人数(61名)が参加!!

(題字・葛西聖司)



参加者の皆さん
(敬称略)

吉岡	古江	横川	山崎	安嶺	谷治	宮松	松平	堀籠	堀井	古木	藤本	麥倉	原場	蓮美	橋本	橋本	根毛	長島	長澤	照木	千葉	丹下	只繩	高宮	高野	高木	関根	清水	柴田	笹尾	竹籐	小森	後藤	黒澤	加納	岡部	大谷	大久保	梅田	伊藤	井戸	石川	鮎川	有吉	新谷		
義典	信博	司平	厚太	博史	正彰	保守	耕二	恭一	信行	進也	義成	仲正	安德	俊弘	美文	幸一	慎誠	秀行	信寛	幸嗣	昭己	正道	治幸	洋和	秋子	富士男	良一	隆敏	憲明	栄香	徳彌	義巳	幹敏	秀敏	立道	洋力	光夫	真人	公雄	隆裕	英行	品雄	美知	俊昭	通泰	眞人	繁文
(理工)	(商)	(法)	(經)	(法)	(法)	(經)	(經)	(經)	(理工)	(理工)	(商)	(經)	(經)	(法)	(法)	(文)	(文)	(法)	(理工)	(商)	(經)	(法)	(商)	(法)	(經)	(理工)	(法)	(法)	(理工)	(文)	(法)	(經)	(經)	(法)	(法)	(經)	(理工)	(經)	(商)	(商)	(經)	(經)	(商)	(文)			



会計監査報告は石川さん



会計報告は黒澤部長



事業報告は千葉部長



議長は山崎会長



益田さんの司会で総会がスタート

総会議案は全員の拍手で承認されました!!



初参加の左から村松、鮎川、高宮、高野、井戸さん



8人掛けテーブルが8卓。話がはずみます。



来賓の挨拶は48会副会長の左居康雄さん

さあ懇親会だ!



山崎副会長の発声で恒例の万歳三唱



1等賞は千葉さん



抽選会には各同好会からも賞品が出ました。



二次会には38名が参加。大盛り上がりでした。

尽きぬ話は二次会へ!



根本さんの音頭で校歌と応援歌

笑顔と笑い声があふれて!

梅雨明け前の猛暑の7月6日、神田神保町のダイニングカフェエスぺリアで総会・懇親会が開催されました。

12時開始の総会は山崎会長の議長の下、次々に議案が承認され、わずか15分で終了。

集合写真撮影もスムーズに終わり、

12時20分から懇親会。山崎会長の卒業50周年という節目に過去最多の61名の出席。しかも当日のドタキャンもなしというお話のあと、来賓の

白門48会副会長、左居康雄様より、検事総長もバリ・オリンピックの旗手になったフェンシングの選手も中大出身という紹介がありました。

乾杯の音頭は大竹副会長。「阪神タイガース」をもじった「半身退化す」というおやじギャグで笑い声に包まれた乾杯で懇親会が開始されました。コレスパテロールや血糖値が上昇しそうなメニューを次々に口に運び、笑顔での会話はますます。もちろん飲み放題で、ピッチも上がります。

恒例の抽選会は、同好会からの景品も加わり当選の確率が大幅にアップ。宮川副幹事長のテンポのよい進行で、梅干しと梅酒(杉本さん提供)、薩摩焼酎18本(ゴルフ同好会・黒木さん提供)、レトルトカレーセット(歩こーる会)、新茶と羊羹(デイライトの会)、備前焼のコップ(囲碁将棋同好会)、オカリナ(何でもあり会)が次々に手渡されました。49会からは会長賞の「でかいバームクーヘン」に続き、3等5千円分のクオカード、2等はビジネスリュック、1等は1万円分のクオカード。なんと1等は事業部長の千葉さんに当たり、10月の「歩こーる会」で使用するということになりました。残念ながら当たらなかった方には、



左から吉江、高木、根本、馬場、柴田、安室さん



左から蓮実、高野、松平、只縄、横川、鮎川、村松さん



左から原、長島、大久保、加納、小澤、小山、吉岡、井さん



左から成毛、長澤、梅田、笹尾、大竹、田仲、照木さん



左から石川、谷治、岡部、益田、橋本(美)、藤本、左居(48会)、山崎(厚)さん



左から古木、斎藤、山崎(司)、宮川、阿部、岩城、清水さん



左から高柴、板倉、千葉、高宮、堀籠、伊藤、菱倉、丹下さん



左から関根、橋本(幸)、有吉、堀井、新谷、後藤、杉本、井戸さん

出口では49会の名前入りのサクマの缶入りドロップが渡され、38名が近くの「酔仙」での二次会に。
3時頃にはすでに各テーブルは大盛り上がりで、楽しい二次会の始まりです。席をあちこち移動して、いろいろな方と楽しくお話しされ、運ばれてくるお料理も次々になくなっていきました。まだまだ話が尽きないうちにお開きとなりましたが、店の外に出ると路面にたたきつけるような大雨と響き渡る雷鳴で、最後までにぎやかな1日となりました。
暑い夏のひととき、50年前に戻り、50年を思い起こした1日でした。また元氣にお目にかかりましょう。

500円分のクオカードが配られました。
今回は初参加者が5名いらっしゃいました。鮎川俊昭、井戸隆裕、高野秋子、高宮洋、村松正彰さんで、少し緊張した表情で自己紹介をされていました。
お酒にピザ、パスタ、デザート、メロンも次々に皆さんの胃の中に納まり、酔いが回っておしゃべりに夢中のなかでの各同好会の今後の予定は、ほとんどの方が聞いていなかったようです。開催のお知らせはメールでちゃんと行きますので、安心を。会も終わりに近づき、落語研究会の根本さんの音頭で中大の応援歌、校歌を歌い、締めは山崎司平副会長の背筋を伸ばしての万歳三唱と一本締めでお開きになりました。

49年白門会2024年総会報告

今期の総会について



49年白門会会長 山崎 厚太

総会開始に当たって

今期の総会は1974年3月卒業後50年を記念する総会ということになります。

今回総会を開催するに当たっては卒業50年を祝うため事前に会員の皆様に中央大学の校章入り記念手ぬぐいをお送りするとともに、当日の卒業50周年記念総会・懇親会にご参加した方々には、同じく中央大学校章入りの缶入りサクマドロップスをお持ち帰りいただきました。会場は前回の喜山倶楽部より駅に近く、料金も低料金のエスベリアと致しました。二次会場は歩いて一分ほどのところにある中華居酒屋酔仙です。

総会議案

総会は2023年度事業報告、2023年度収支決算報告、2023年度会計監査報告、2024年度事業計画(案)、2024年度収支予算(案)、運営体制(案)の五つの議案に付き審議採決しました。運営体制(案)では渡邊幹事が副幹事長となります。

た。他の役員は総て留任です。
2024年の動き

コロナも下火になってきたので同好会事業を復活し、デイライトの会歩こー(る)会、何でもあり会、囲碁将棋の会の行事を再開します。また、身近なテーマを取り上げた講演会も実施します。

卒業50周年記念総会

催し物などの一過性のものに資金を使うより、皆さんに還元した方が良くと考え、懇親会の抽選会賞品を増やす事に致しました。内容も一等、二等の賞品は実用性のあるクオカードやビジネスリュックなどとし、卒業50周年記念会長賞や各同好会が選んだ同好会賞などを加え多彩にしました。出席者は61名と昨年総会の52

名より大幅に増えました。参加者が60名以上いるのは年次支部の中でも一番だと思えます。また会員でない方々にもお声をかけたところ5名の方が参加され、そのうち2名の方が新規に会員となりました。

今後の予定

卒業50周年記念総会は大きな一区切りですがまだまだ先は長いです。49年白門会創立20周年記念総会はコロナのため中止となりましたので創立30周年記念総会を是非実施したいと思えます。今から6年後の2030年となりますから我々全員後期高齢者となります。

皆様今後ともお体ご自愛なさり創立30周年記念総会を共に祝いいたしましょう。

事業報告

事業部長 千葉 幸嗣



本年の総会は卒業50周年記念総会として7月6日に神田神保町にあるダイニングカフェ エスベリアで開催しました。懇親会の余韻も醒めぬまますぐ隣の酔仙での二次会にも殆

会計報告

会計部長 黒澤 義己



コロナ禍後の自粛生活も明けて2年目、昨年度後半から今年度にかけては、会員の諸活動が本格化し、漸く通常の1年に戻ってきた感があります。

折しも卒業50周年に当たる節目の年として、今年度は総会を「卒業50周年記念総会」と銘打ち、昨年とは場所を変えて、盛大に行いました。場所を変えたのは、料金を安く、充実したところにするため、この目

⑤10月22日に歩こー(る)会「戸山公園」歌舞伎町、⑥10月26日にデイライトの会「特別企画・東京競馬場」⑦11月26・27日に何でもあり会「伊藤園ホテル四万」と、立て続けに開催されました。

なお、10月27日に多摩キャンパスで行われたホームカミングデーの卒業後50年懇親会については各会員の自由参加としました。49年白門会の新年会は2025年1月25日(土)に神保町で開催しますので是非ご参加ください。来年も引き続きご協力の程よろしく願います。

的は達成できたと考えています。

さて、会計面ですが、2023年度の会費収入は、計画比10名分の未達、一方、新年会・総会の参加者は計画比数名超過となり、支出となる懇親会費は増加しました。当会は今後、懇親会などで会員に還元していく方針を打ち出しており、次年度への繰越金は徐々に減少していくこととなります。但し、諸活動再開による大学学生会補助金収入も見込めますので、運営上の支障は生じないものと考えております。

会員の皆様には、引き続きのご支援・ご協力を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

49年白門会
2024年
総会議案

第1号議案

2023年度事業報告

- 1・各行事
(1) 2023年7月8日(土)
総会・懇親会 喜山倶楽部
(2) 2023年11月11日(土)
歩こー(る)会
不忍池・吉池食堂
(3) 2023年11月24日(金)
第24回49年白門ゴルフ会
飯能パークCC
(4) 2023年12月2日(土)
囲碁将棋同好会
(5) 2024年1月27日(土)
新年会 喜山倶楽部
(6) 2024年3月9日(土)
囲碁将棋同好会
2・中央大学49年白門会会報発行
第46号・2023年5月20日(土)
第47号・2023年12月9日(土)
3・中央大学49年白門会常任会活動
第18回・2023年4月6日(木)
第19回・2023年6月8日(木)
第20回・2023年7月22日(土)
第21回・2024年3月16日(土)
4・中央大学49年白門会役員会活動
第120回・2023年4月22日(土)
第121回・2023年6月10日(土)
第122回・2023年9月30日(土)
第123回・2023年12月9日(土)
5・会員数
268名(2024年6月15日現在)

第2号議案

2023年度収支決算報告について(2023年4月1日～2024年3月31日)

(収入の部)			(支出の部)		
(単位:円)			(単位:円)		
費目	決算額	概要	費目	決算額	概要
会費収入	354,000	年会費 114名×@3,000円= 342,000円 入会金 0名×@1,000円= 0円 前受金 12,000円	通信費	98,045	案内状送付費 87,708円、後納手数料 2,075円、送料 8,262円
懇親会収入	899,500	総会 52名×@8,000円= 416,000円 二次会 46名×@1,000円= 46,000円 新年会 46名×@8,000円= 368,000円 二次会 34名×@2,000円= 68,000円 +1名×@1,500円= 1,500円	事業費	278,469	会報印刷 46号 105,336円、47号 129,140円、会報広告デザイン料 5,000円、案内状等印刷 15,950円、横断幕 5,770円、ホームページレンタル料 5,238円、その他 12,035円
寄付金	1,000	1,000円×1名	懇親会費	1,091,729	総会(喜山倶楽部 397,500円、景品 106,244円、二次会 123,000円) 新年会(喜山倶楽部 329,000円、景品 30,985円、二次会 105,000円)
雑収入	183,002	学生会支部事業支援金 130,000円 会報広告掲載料 53,000円 利息 2円	交際費	0	
収入計	1,437,502		雑費	36,981	振込手数料 22,301円、その他 14,680円
			雑出計	1,505,224	
			収支差額	▲67,722	
			前年度繰越金	1,104,486	
			次年度繰越金	1,036,764	

第4号議案

2024年度収支予算(案)について(2024年4月1日～2025年3月31日)

(収入の部)			(支出の部)		
(単位:円)			(単位:円)		
費目	決算額	概要	費目	決算額	概要
会費収入	345,000	年会費 115名×@3,000円= 345,000円 入会金 0名×@1,000円= 0円	通信費	100,000	案内状送付費 88,000円、送料 9,000円、後納手数料 3,000円
懇親会収入	925,000	総会 55名×@7,000円= 385,000円 二次会 40名×@2,000円= 80,000円 新年会 50名×@7,000円= 350,000円 講演会 35名×@2,000円= 70,000円 講演会 20名×@2,000円= 40,000円	事業費	386,000	会報印刷 235,000円、会報広告デザイン料 5,000円、案内状等印刷 16,000円、記念品制作費 95,000円、事務用品 1,000円、講演会講師代 20,000円、ホームページレンタル料 8,000円、横断幕 6,000円、
寄付金	0		懇親会費	1,174,000	総会 574,000円、新年会 520,000円、講演会 80,000円
雑収入	160,000	学生会支部活動支援金 100,000円 学生会講演会講師料補助金 20,000円 他支部などからの祝金 10,000円 会報広告掲載料 30,000円	交際費	10,000	他支部宛宛り金 10,000円
収入計	1,430,000		雑費	58,000	振込手数料 25,000円、その他 33,000円
			雑出計	1,728,000	
			収支差額	▲298,000	
			前年度繰越金	1,036,764	
			次年度繰越金	738,764	

第3号議案

2024年度事業計画案

- 1・中央大学49年白門会事業基本計画
同期相互の親睦・交流を増進する
とともに、会のガバナンス強化を図
り、卒業50周年(2024年)記念
総会を実施する。
(1)既存会員間のコミュニケーション
を更に増強する。
(2)同好会活動を活性化し、卒業50周
年後に備える。
2・2024年度事業計画案
(1)総会・懇親会
2024年7月6日(土)
(2)講演会
2024年11月9日(土)
(3)新年会
2025年1月25日(土)
3・同好会行事予定
「デイルイトの会」
2024年8月26日(月)
品川プリンスホテル
「和ヒストロいちよう坂」
2024年10月26日(土)
特別企画「東京競馬場」
「囲碁将棋同好会」
2024年7月、11月、
2025年3月予定
PACOスタジオ
「箱根駅伝予選会応援」
2024年10月19日(土)
立川駅近辺
「ゴルフ会」
2024年10月21日(月)

第5号議案

2024年度の運営体制

- 飯能パークカントリークラブ
「歩こー(る)会」
2024年10月22日(火)
戸山公園・歌舞伎町
「何でもあり会」
2024年11月26・27日
群馬県四万温泉
*同好会の予定や日程は総会後に決
定したのも掲載しました。
◆新任 渡邊秀和(文)
副幹事長
◆再任 山崎厚太(経)
会長 大竹力三(法)
副会長 兼 広報部長 山崎司平(法)
副会長 葛西聖司(法)
原 伸正(経)
幹事長 兼 事務局長 益田耕一(法)
事業部長 千葉幸嗣(商) 歩こー(る)会
会計部長 黒澤義己(法) 囲碁将棋同好会
副幹事長 井美知子(経) デイルイトの会
小澤秀敏(法) 柴田 明(理工)
高橋和幸(法) 何でもあり会
只縄治幸(法) 根本慎一(文)
馬場安徳(法) 歩こー(る)会
宮川 保(経) デイルイトの会
安全澄子(文) 何でもあり会
石川昂雄(経) 歩こー(る)会
大谷洋一(法)
幹事 肥沼敏子(理工) ホームページ
高木一成(理工) ゴルフ会

同好会も再開中!!

5年ぶりの「デイライトの会」

2024年
8月26日(月)

猛暑にゲリラ雷雨の今年の夏。そんな心配もなく8月26日(月)曜日、お馴染みの品川プリンスホテル・アネックスタワーの「いちよう坂」に14名が集まり、久々の「デイライトの会」が開催されました。

諸物価高騰で3千円の会費が4千円になってしまいました。が、buffetで3時間30分の利用ができる貴重な店です。

11時半から始まる前にお著やおしぼり、飲み物が用意され、会費の徴収もスムーズにいき、開始の挨拶もそこそこに、各自がお惣菜に天ぷら、握りずし、うどんやカレー、アナゴの炊き込みご飯など自由に盛り合わせたお皿を並べ、楽しい食事の開始。

年齢的に食べ放題はあまり行かなくなつたという方も、お代わりをしてデザートまで進み、食事が一段落すると、合間に飲み物を取りに行くくらいで、話がだいに盛り上がりつつあります。

食べ放題はどこへやら、かつての仕事の苦勞話や、孫が来てお世話が大変だった夏休み、中大に通学するときの懐かしい西武線の話、元氣な方は山登りの経験など、話題が尽き

コロナ禍でほぼ4年間、細々と活動してきた同好会も、ようやく活発に活動できるようになりました。各会から早速レポートが届きました。

ずあつという間の3時間30分でした。お酒がなくても楽しかったからまたやりましようと言っていたいたのだが、最高のほめ言葉でした。最後に店の前で記念写真を撮りましたが、増田さん、杉本さんが所用で先にお帰りになっています。まだ暑さの残る3時過ぎに解散となりましたが、また次回、元氣にお目にかかれますよう、皆様のご参加をお待ちしています。

最近では欠席の理由が所用だけでなく、体調不良、診療日と重なった、家族の診察の付き添いなど、年齢なりになってきました。ラッシュが終わってから集合し、お酒なしで「安



前列左から成毛誠、新谷真人、宮川保さん。中列左から渡邊秀和、荒井ひろ子、安室澄子、岡部立道さん。後列左から高橋和幸、柴田明、木村真、長澤寛、井美知子さん

囲碁将棋の会でスキルアップ

2024年
7月13日(土)

卒業50周年の年の第1回例会を去る7月13日に行いました。場所は会員の高橋和幸氏のOfficeである「PACO Studio」にて、前回より同氏の好意により、使わせてもらっています。以前は中央大学駿河台キャンパスで行っていましたが、キャンパス内の会議室ですので、飲食禁止等の制約があり、何よりも毎回予約した上で、棋具を持参せねばならず、会員にとっては些が負担の大きいものでしたが、今後はその負担もなくなりました。

新会場となったPACO Studioは、碁盤・将棋盤を合わせて516面置くのに十分な広さ、つまり10名程度が集まって対局するのに適した広さで、皆で和気藹々と活動ができる、当同好会にうってつけの場所と言えます。休憩時間には多少のアルコール入りの飲料も飲みながら、その後の対局にまた趣向の変わった雰囲気を加えることもできました。

本年度は、少しは棋力向上も目指そうと、基本的な詰将棋(1手・3手詰め)なども取り入れ、皆で楽しみました。以下に一例を示します。

お願いいたします。多少会のコンセプトから外れる番外編も考えていますので、参加できるときにご参加をいただき、楽しいひと時を過ごしましょう。

(井美知子・記)



箱根駅伝予選会観戦記

2024年
10月19日(土)

第1001回箱根駅伝予選会は10月19日(土)立川市の陸上自衛隊立川駐屯地から昭和記念公園までのハーフマランコースで行われた。43校が参加して10校が1月2日の箱根駅伝に出場できる。

中央大学は今年正月の第1000回箱根駅伝では優勝候補に挙げられながらまさかの13位に終わり、3年ぶりの予選会に回っていた。今回の予選会には2週間後に全日本大学駅伝が控えており、吉井・溜池のダブルエースを温存してのレースとなった。

9時過ぎには立川駅北口の「洋服の青山」前に高木会長をはじめとする9名が集まった。2本ののぼり旗



前列左から高橋和幸、黒澤義己、益田耕二さん。後列左から三橋克美、後藤徳彌、丹下照己、安室澄子、藤本真也、新谷真人、笹尾憲司さん

を掲げ選手の到着を待つ。9時35分スタートなので9キロ地点のこの場所には10時頃やってくる。先導の白バイが見える。5人の先頭集団はいずれも留学生。すぐ後ろの10人の集団も留学生でやや遅れて一人の日本人選手。4・5秒の後に100人くらいの大集団が走り去った。その中に白地に真つ赤な「C」の字のシャツを着た中大の選手がまともに通過。10人まで数えることができた。作戦なのだろうか各大学は集団で走っているのが多かった。先頭から10分以上たってもまだまだ集団が続く。季節外れの暑さのせいかな、すではあてはめられない。

詰将棋の解
1手詰め 3一龍
3手詰め 3三桂 3一王 4一金

予選突破を確信した我々は電車で一駅の新西川駅に行き会場の昭和記念公園に行く。会場内には各大学ののぼりが立ち、東京では真夏日になった炎天下の中で結団を待つことに。

スクリーンに映し出されたテレビ中継に中央大学が11位になっているのに気が付くと周りにいた中大関係



左から高木一成、後藤徳彌、大竹力三、新谷真人、古木進一、橋本美文、益田耕二、小澤秀敏さん。前列は有山滋さん

者から不安な声(後でわかったが、この順位は10人がゴールした順位)。11時20分頃に集計結果が発表になった。1位立教大学のコールに場内にはどよめきと拍手。2位3位4位にも中大はコールされない。5位中央学院のコールで、やはり11位なのかと不安が走った直後「6位中央大学」のコールに周りが歓声と拍手が起きる。高木会長を中心に我々も歓喜の拍手。

11位の東京農大は1秒差で切符を逃したことが分かった場内には大きなどよめきが起った。

立川駅に戻り駅前の「がんこ寿司」で祝杯を挙げた。「もう予選会はこれっきりにしたい」という意見で一致。

予選会を勝ち抜いての本戦での総合優勝は過去2例。前回のリベンジへ体調を万全にして総合優勝に向かってほしい。
(大竹力三・記)

楽しいあり、ハプニングあり、楽しかった高齢者の徘徊遠足！

大盛會 第4回「歩〜(る)会」

2024年
10月22日(火)

秋晴れに恵まれた10月22日10時、江戸時代に鉄砲組百人隊が奉納した鳥居や灯籠が残る新宿百人町の皆中稲荷神社に10人が勢ぞろい。

幹事から当日の歩くコースの地図が配られ韓国料理店が立ち並ぶ新大久保から山の手線沿いにつつじ通りを高田馬場方面に向かってスタート。健脚者から退院間もない方など様々な参加者がいましたので、金木

犀の甘い香りに誘われながらゆっくりに歩きました。

高田馬場駅近くの大久保学生広場では、保育園児たちが駆け回っていました。我々一行を見ると「変な爺たちが来た〜」と保育士さんの方へ散っていきましました。でも、親切な保育士さんが我々の写真を「はい、楽しくポーズ」と声をあげて撮ってくれました。

やっと都立戸山公園(大久保地区)へ。広場の端でダンスの練習をしていた若手集団を横目に水分補給のため小休憩をとりました。なんと「ここまで来たらもういいじゃないですか」とゴクッゴクッとワインを飲み始めたのが成毛さん。

これから新宿方面へ南下しましたが、太陽を浴びて暑くなりました。いつのまにか朝歩きの間連と云っていた成毛さんが最後尾に…。

小泉八雲記念公園をめざして狭い路地を高齢者10人が徘徊者の如くぶらぶらと道幅一杯に進みます。記念公園の中で集合写真を撮ろうとしたときに、一人居ないことに気づき大慌て。見当たらないのは成毛さん。次の立ち寄り場所の「稲荷鬼王



保育士さんに撮ってもらいました。左から柴田明、安室澄子、藤本真也、岡部立道、稲田耕一、成毛誠、菱倉義成、後藤徳彌、田仲正道、千葉幸嗣さん

神社」にもいません。幹事が「途中万一、迷子になったら懇親会場の三平に行ってください」と出発の時言っていたので大丈夫だろうと思いつながら懇親会場の三平へと向かいました。

12時に到着し、案内された部屋に入るなり9人でカンパニー。さすがに歩いた後のビールは格別に美味い。20分後に迷子になった成毛さんが合流し、やっと全員で懇親会がスタートしました。昼間の飲み会は酔

卒業50周年記念ゴルフ会

2024年
10月21日(月)

毎回收利用している埼玉県の飯能パークカントリーで卒業50周年記念49年白門会ゴルフ会を実施しました。

福岡から上京する私の都合で箱根駅伝予選会実施日に併せて日程を設定した為、何時もの金曜日開催ではなく月曜日に急遽変更した為に、参加者が9名と平減してしまい申し訳ないことを致しました。

2009年に第二回大会(4人1組)を開催し、台風や地震で中止になったこともありましたが、コロナ前までは春秋の年2回実施し、今回25回目を迎えました。

S45年からS49年の4年間に白門を同じ時期にくぐりまた同じ時期に中庭ですれ違ったかもしれない、同じ御茶ノ水の空気を吸っていたという一体感の強い絆の元、10数年にわたりのこのゴルフ会が続いたことは驚きとともに感謝の念でいっぱいです。

周りの山々はまだ紅葉には早かったのですが、穏やかな秋空の下、ス

いが早く真面目な話からバカ話まで盛り上がりました。話で盛り上がりなことで「時間です」とお店から声が気が付けばいつの間にか時間越えを引き続き7人が二次会へ。三平からすぐ近くの大衆酒場へ直行。夕方4時まで飲み会が続きましました。まさに4時間の「アルコール会」。再会を期して薄暗くなった新宿の繁華街から家路につきました。

(千葉幸嗣・記)

コアには関係なく3組で和気あいあいとラウンドしました。

皆さんは後期高齢者前後なので、まずは無事に終えることが幹事の願い。4時前に無事にコーヒーとケーキで成績発表ができて安堵しました。優勝者は柳澤敏男さん、準優勝は宮崎県から参加の黒木兼一郎さんでした。今回も黒木さんより宮崎県特産スパイス調味料「マキシマム」を参加賞として皆さんに準備頂きました。感謝です。

(高木一成記)



前列左から山崎司平、高木一成、黒木兼一郎さん。後列左から細田邦男、甲田隆夫、小澤龍次、柳澤敏男、長島秀行、清水隆敏さん

(詳細はHPに掲載してあります。)

友へのメッセージ

バーレーン王国・見聞録

古木進一（理工）

神奈川県相模原市

私は富士電機に就職し退職迄の43年間を国内外向けの重電プラントの設計を担当、特に40年間は海外向け電気化学工場やアルミニウム精錬工場向け設備設計を多数担当し、25ヶ国での現地駐在や長短期滞在を経験しました。

ヨハネスブルグでは日中の路上で強盗に襲われるなど怖い目にも遭いましたが無事に終えて、残り2年で定年退職という日が来ましたが、が運悪く「最初から出荷まで担当した最後のプロジェクトだから、試運転完了までの現地総指揮をやってほしい」と望まれ断れず、中東のイスラム国バーレーンでの2年間の生活がスタートしました。

現地ですぐに知ったり、感心したり、驚いたりした事を、紹介します。
★バーレーンの国名の由来は、アラビア語のバール「海」と「レーン」（2つの）の合成語です。2つとは、島に湧き出る真水と島を囲む海水を意味しています。

★国土は、アラビア半島東部のペルシャ湾に位置する島国で、仙台市とほぼ同じ面積。

★気候は、10〜42℃と観光案内して

いますが、夏期は50℃を頻繁に超えます。でも49℃以下の表示しか町中では見られません。



50℃超過時の屋外労働は法律違反なので、会社の表示板では49℃の表示。（実際は53℃あった）

★砂漠でのキャンプを、気温が10〜20℃になる10月から2月まで夜通しで楽しめます。油田・ガス田を避けて

★歴史上に、バーレーンが登場するのはBC3千年頃。エジプトやシュメール文明に匹敵の人類最古の文明「ディルムン文明」があり、その都市遺跡が中心地バーレーンに残存しています。BC2千8百年頃に建造

のバルバル神殿も同文明の遺跡であり、近くにBC3千年頃からの2万基程の古墳群も在ります。

★真珠、ディルムン文明の墳墓中埋葬品から見つかっています。BC2千年頃からバーレーンの基幹地場産業であり、高品質で高価だったこの事。しかし1930年頃に出現の日本産養殖真珠の価格が天然物の30％程度であり、バーレーン天然真珠産業は衰退した。

★アダムとイブの「エデンの園」は、バーレーンだと言う説があり、イブが知恵の実を食べた木はバーレーンの砂漠に現存の樹齢4000年越えの「生命の木」だとの伝承。



砂漠の中に1本だけ生えている「生命の木」。根が地下30メートルまで伸びているという。

★石油、中東で最初の油田がバーレーンで1932年に発見され財政基盤となり、国民王国も国民生活も共々豊かになったそうです。

★砂と麦生のゴルフ場が夫々ある。

★酒類も秘密倉庫で何でも買えますが、持っている事が見つかったと宗教警察に逮捕。お酒も駐留米軍のバーがあり楽しめます。

★豚肉も特定マーケットで購入でき、ホテルやアパートの部屋で自分で料理し食べました。

★現地人の婚約披露宴に参加しましたが、主賓も家族も参加者も全て男性。イスラム法。

★他にもありますが、これで失礼。

楽苦我喜

富保（経）

東京都渋谷区

歓声が包む競馬場に行ってみませんか

師走を盛り上げるイベントの一つ、有馬記念。今年は24日に開催。NHKでも放送されるので、ご存じの方も多いだろう。

私が競馬場に初めて行ったのは高校三年の冬。府中競馬場と直線距離で六キロという地の利もあってか、競馬に慣れ親しんでいた生徒もいたようで、友人たちに誘われ、気乗りしないながらも同行した。

前日までの大雪が嘘のような晴天の下、繰り広げられるレース。勝ち馬の躍動感あふれる姿や勝負服を身にまとった騎手のカッコよさに魅了された。当日誰が行ったかは全く記憶に残っていない。けれどこの情景は50年以上経った今も鮮明に思い出すことができる。

大学に進学して、正門を出てすぐのところに「二口馬主」のクラブ事務所があることを発見した。これは、会社が二頭の馬を二百から四百口といった小口に分割して販売するもの。このシステムを利用して、私も二頭各一口の「馬主」になったのである。

結果、二頭とも勝つことができた。ずっと勝てなかった二頭は、小倉競馬場で行われた最後の未勝利戦を先頭でゴールイン。現地に行っていた自分に憑きかえられたように嬉しかった。

時は流れ、退職した私は「馬の世界」に舞い戻ってきた。「二口」の馬では天皇賞やジャパンカップなどに勝ち、世界ランク一位となったイクイノックスを持つことができた。また、地方および中央競馬の馬主資格を取り、個人の名前で馬を走らせることになった。最近では北海道の牧場に足を運び、馬との触れ合いを楽しんでいる。

馬が走る姿を眼の前で見ると、気持ちちは高揚する。ゴールが近づくと声援が湧き、優勝馬を称える拍手も聞こえる。馬主でなくても馬券を買っていらなくても心躍る場所だと思っ。あなたも競馬場に行ってみませんか。



1歳の女の子です。



デビュー戦から2連勝！

チコちゃんのうちあけ話

その10

葛西 聖司 (法)

ドラマ編

少年時代、テレビドラマの思い出は「月光仮面」「怪傑ハリマオ」「少年ジェット」「笛吹童子」…数え上げればきりが無い。テレビ草創期のわたしは、毎週ワクワクしてテレビの前に座っていた。主題歌も口ずさめたり、ナレーションも印象的だった。

そんな憧れたテレビドラマの字幕に「語り・葛西聖司」と出してもうったときはうれしかった。朝の連続テレビ小説「濡つくし」のことは以前にも書いたが、これが初めてのドラマだった。局内でのオーディションで選んでくれた。放送は昭和60年。収録は前年から始まっていたので、40年前の話。視聴率が50パーセントを越えた。スタジオリハール用の仮ナレーションと本番のナレーション。毎週12回分収録するので、大変だった。総集編も入れると9か月くらい取り組んでいた。いい経験だったが風邪もひけないし、声を鍛えるため義太夫の教室にも通った。長唄や小唄は「歌」だが義太夫は「語り」。人物の語り分けや声の幅を学んで取り組んだ。脚本のジェームス三木の物語はオリジナルなので誰も展開を



ハリウッドスターの若き日の渡辺謙

知らない。夫が海難事故で行方不明になったり、醬油屋と漁師のいさかいに巻き込まれる主人公のおおる役が、新人の沢口靖子。その輝く若さと美しさは人気を呼んだ。その心の内を語る難しさが課題だった。

「恋は危険な訪問者である、しかし、ひとは誰も恋を待っている。恋にめぐりあわぬ人生はむなしくさびしい」

この冒頭の語りは忘れられない。そのジェームス三木との出会いが二年後の大河ドラマ「独眼竜政宗」へとつながってゆく。ハリウッドス

ターになった渡辺謙との出会いでもあったが、少年時代の政宗は梵天丸といい、疱瘡で隻眼となる役を演じたのが藤間遼太いまは日本舞踊藤間流の家元、藤間勘十郎の若き日。いまも仕事での付き合いが続いている。不動明王の隻眼を見ながら「梵天もかくありたい」というセリフは、当時、流行語になった。

冷たい母親が岩下志麻、太閤秀吉が勝新太郎、ねねが八千草薫、家康が津川雅彦…豪華な俳優陣が綺羅星の如くだった。

「荒野をかける龍がいた、戦国を駆け抜ける龍がいた。人呼んで独眼竜政宗！」



ドラマにはなくてはならない音楽。「独眼竜」「濡つくし」のほか「黄金の日々」「峠の群像」など大河ドラマ常連の作曲家・池辺晋一郎

「荒野をかける龍がいた、戦国を駆け抜ける龍がいた。人呼んで独眼竜政宗！」

この語りも難しかったが、やりがいのある一年だった。世間の注目を集めるだけに語りについての苦情も多かったが、誤解もある。「享年を葛西アナウンサーは、ぎょうねんと読んだ」と新聞に投書があった。これは聴き間違いである。音は「ぎょうねん」だが享年ではなく台本には「行年」とあるのだ。台本通り読まなくてはいけないので、書かれてしまったら、いいわけはできない。

多摩総合法律事務所

弁護士 橋本幸一
 弁護士 近藤わかな

弁護士 露木肇子
 弁護士 三井浩之

八王子市寺町30番地

☎ 042-626-9330

俳優の息遣い、その隙間に潜り込むスリル。単に説明ではなくドラマに参加する気持ち、多彩な描写……収録された映像にみる俳優の演技力。さらに照明、音声、音楽、編集……さまざまなプロの総合力の上で仕事をさせてもらったことを、まざまざと思い出す。これが現在の「読む」仕事につながっている。

今年は小学館のオーディオブックで「平家物語」を原文で朗読した。来年は「日本書紀」という大物が待ち構えている。

格闘技観戦顛末記

成毛 誠(法)
神奈川県 川崎市

9月29日(日)にプリズン主催の格闘技大会を見に行ってきた。格闘技観戦は初めての経験だから期待半分不安半分で、さいたまスーパーアリーナに向かうと大勢の若人だらけで熱気ムンムン異様な雰囲気でした。入場ゲートの前で招待してくれた49会員の小山香氏と落ち合い、まもなく着いた高橋和幸氏とともに入場しました。

2時の試合開始までに集まった一万以上の観客に浴びせられた凄まじい音楽と爆裂音、これが生涯初めてのライブ臨場感かとしばし酔いれました

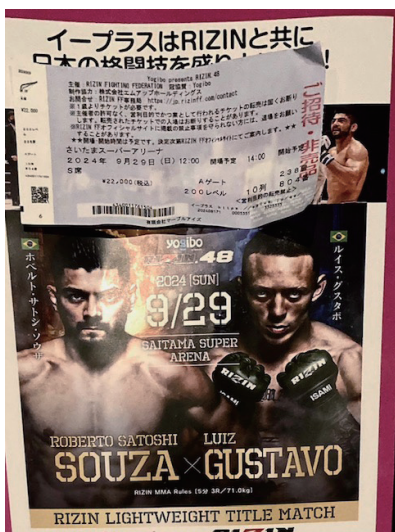
最初の3試合は1回KO劇が続き迫力満点の肉弾戦に圧倒されっぱなし。前半戦最後は女子の引退試合でした。試合後全員起立して、最後の



肉弾戦のリングが一転、華やかなAKB48のショウタイム !!

テンカウントを聞くというけれどもこれも初体験で楽しく味わうことができました。

前半戦が終わりリングは一転AKB48のショウタイム。ついでが



高額な入場券。小山さんに感謝です



AKB48の音楽に体も揺れるハッピータイム !!

リズムに合わせて揺れてしまいました。

後半戦も5試合あり最後の2試合はバンタム級王座決定戦とライト級タイトルマッチ。最後のメインイベントのタイトルマッチはブラジル人同士の戦いで、1ラウンド開始わずか22秒KO劇で幕を閉じました。

11試合が終わったのは午後8時過ぎ。残り少ない人生劇場の中で華々しい音楽と格闘技で10歳は若返った気がしました。

こんな楽しい刺激を受けた後、JR東海道線の人身事故の影響に巻き込まれ、川崎の自宅には夜中の2時に帰宅という悲しいオチがつき、世の中ますます強烈なしっぺ返しを食らう思い出深い1日となりました。

私の中国見聞録

木村 真(法)
埼玉県 蓮田市



私の中国の初めての出会いは中学時代に短波放送の「日本語北京放送」を聞いたのが初めてでした。次に就職後黒竜江省で大豆がらがんもどきを作って、急速冷凍で日本に持ってくる計画でした。急速冷凍の機械などは日本から持っていくのですが、共産圏に持っていくにはココムが有り国の安全貿易の許可が必要でした。中国からも要人が来ました。中国側は急速冷凍の機械が欲しかったようです。でも国の許可を得て中国に出張しようとしたら当時国交がな

す。日本語の看板が有り、「馬鹿な日本人がこで多く死んだ」と書いてありました。

く、ビザの代わりに招聘状が必要でしたが、招聘状を出した人は突然の文化大革命で失脚し、中国側から入国させない旨の連絡がありました。皆に幻の中国と言われました。

次は20数年後大連・北京・武漢などに行きました。中国人スタッフ同行で安心でした。大連は軍港があり、

それから10年後位に武漢に行きました。武漢に工場を作る交渉でした。市役所と共産党の市の本部のあるビルで会議を行いました。昼食を食べることになりました。立派な食堂で共産党幹部専用でした。そこで長城ワインを一人で空けました。するとその共産党書記の人が突然ビールの飲み比べをしようと言いつけました。大ジョッキを二気に飲み干しましたが、その書記はまだ半分くらいでした。その後はこちらのペースで進みました。会社の仲間から「芸は身を助ける」とはこのことだと言われました。今から振り返ると楽しい思い出です。

64歳になったら

伊藤公雄(経)

千葉県
茂原市

定年退職後に、高校の同級生4人でバンドを作り活動しています。最初は、小中高と同じ学校で過ごした二人で始めました。私はギターで、相方はバンジョー、その後2名(ギターとベース)が加わり4名体制になりました。ベース担当は、初めての楽器でしたがギターを弾いていた経験があり、今では、遜色なく難解な曲もこなしています。

します。

63歳の当時、「When I'm 64」という曲をやるというところで、練習を始めました。この曲は、ビートルズのLP「サージャーント・ペパーズ・ロンリーハーツ・クラブ・バンド」の中の曲です。来々64歳までに仕上がればいいかと、気長に気楽に取り組みましたが、少々歌詞が長く構成が複雑? どうまう行きませんでした。残念ながら目標の64歳での披露となりませんでした。歌詞は「ずっと先のことですが、64歳になっても

私を必要としてくれますか? 食事を作ってくれますか?...一緒にいると草むしりをしたり、ヒューズの交換をしたり役に立ちますよ...」と唄ったラフソングです。

毎年参加している隣村の長生村バンドフェスでビートルズのコピーバンドがエントリしたということが契機となり、ビートルズの曲を何かやろうということになり改めて練習し、ようやく「When I'm 64」がレパートリーの一曲になりました。

昨年の暮れ、待つこと11年、バンドフェスで初めて披露? しました。YouTubeに投稿しておりますのでご覧ください。URL「長生村バンドフェス2023」の最後の曲として私が歌っています。私たちはすでに64歳を軽く超え74歳になっていました。

秋には、高校のクラス会があります。去年に続く開催で楽しみにしています。常任幹事の委員長・副委員長のご苦労もあり、これまで10回以上開催できています。クラスメイトにこんなことを言われました。「これまで一生懸命働いてきたんだから、これから余生は楽しみなくちやダメよ! 好きなことをして、好きなものを食べて、飲んで」と。また、バンドリーダーは、こんなことを言っています。「楽器の演奏をする指の運動により脳を刺激しボケ防止になる」と。

この二つの言葉をよりどころにバンド活動を楽しんでいます。

自然に身を置いて

阿部 繁(文)

神奈川県
横須賀市

私は、今、三浦半島スケッチ会で、毎月、一度、三浦半島にスケッチに行っています。景色がいいところに行くと絵を描いています。

自然に身をまかせ、風に吹かれて、さざ波の音を耳を澄ませて、鳥が青い空を飛ぶ姿を見て、自然に身を置き、自然と一体になると、日々の嫌な事がどこかに行ってしまう。改めて、自然の力を感じました。

「岬めぐり」の歌の中で、「悲しみ深く、胸に沈めたら、この旅終えて、街に帰ろう」とあります。人は失恋すると海を見にいきます。海は、傷ついた心を癒す力があるのだでしょうね。改めて、自然の偉大さを感じる日々です。

三浦半島の

スケッチ画です



退職後の夢の生活

渡邊 秀和(文)

埼玉県
入間市

今年の三月末、72歳で、7年ほど勤務した会社を退職した。入社以来お仕えた直属の上司が、定年となつてから、それまで快適だった職場環境が一変し、居心地が極端に悪くなったためである。つくづく組織は「人」で保たれていると痛感した。

フルタイムで働いている時は、勤務優先の生活で週末にはぐったりしてしまい、何もできずに終わっていた。仕事を辞めてよかったのは、日曜日の夕方になつても翌日の勤務の心配をしなくて済むこと。通勤は、5時12分の始発電車に乗り都心の事務所まで、よくぞ続けたものと我ながら思う。

現在の生活のテンポは、ゆったりとしていて楽である。年金だけでも何とか生活できるが、旅行などに行ったりする余裕が全くない。私は、マイカーはとうに手放し維持費がかからない。酒も飲まない、飲めない、居酒屋に行くこともないので家計の負担は大きくない。よって、自分のために使う時間はたっぷりある。困ったことに、半生をかけて収集した蔵書とレコードを全て処分した。おかげで狭いマンションの押し入れの中と壁面が一掃された。高校教師をしていた弟は、亡くなった時に数

千冊の蔵書があつて、遺族は、私設図書館にしようと言っている。地方に住み、広い戸建てに住んでいる者の特権だね。

蔵書というのは、それを収集した当人と一体不可分のもの。当人には、思い出が詰まっても他人には高張るゴミの山。それがわかっていたので、自身で恩師からいただいた本までバツサリと処分した。愛読書の好きな部分の一部は、頭の中に入っているの、時折思い出しては一人で楽しんでいる。最近は、なかなか

競馬を丸ごと楽しむ

宮川 保(経)

東京都
渋谷区

「デイライトの会(番外編)」として10月26日土曜、府中にある東京競馬場へ行ってきました。

この日は秋晴れとはいかなかったものの、寒からず暑からずの競馬日和。私たちは第1レースから観戦、朝から白熱のレースが展開され、観客の熱気が伝わってきます。

昼食は、競馬場内にあるレストラン「ホテルオークラ」でとりまします。ジャパンカップなど外国から来る賓

思い出すのが困難だが、それも仕方がない。それと、便利なのは、グーテンベルクプロジェクトにアクセスすれば、すぐ手に入る。

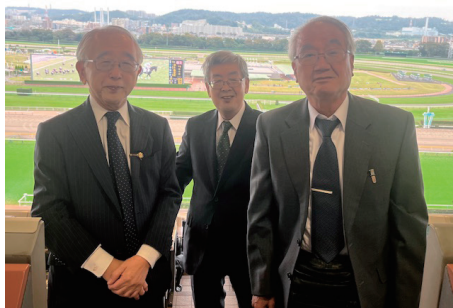
日常生活の一大変化は、カミさんといつも一緒に顔を合わせていないといけないこと。三人もいた子供は、家から出ているので、カミさんは大抵自分の部屋に引っ込んでいるが、女性同士の友人関係が密なので、女子会にはしょっちゅう呼ばれて家を留守にしている。まあやましい限り。男は、会社を離れると一切付き合いが途絶えてしまうとは大違い。私も、これからは、近所の老人会とか同窓会に顔を出したり、大学図書館(後楽園校舎)の利用許可を活用して文化的生活の拡大に精一杯努めるつもり。

客をもてなすために作られたため室内は豪華、食事をする環境は非常に整っています。

食後はみんな、二歳のデビュー戦に出走する馬たちを見るため、パドックへ向かいました。数々の大レースを勝ったアーモンドアイの初めての子が出走するため、大勢のファンが集まっています。レースでは残念な結果に終わりましたが、今後の成長に期待する向きも多いようです。

次いで場内にある競馬博物館を見学。競馬のルーツから近現代に至るまでの競馬の歴史に触れたり、実際に使用されているゲートシステムの体験コーナーを見たり、意外に知られていませんが外せない場所の一つです。ほかにも遊園地風の施設があり家族連れでも楽しめるなど、ギャップルとしてなく一般の来場客でも楽しめるような工夫がされています。

次いで場内にある競馬博物館を見学。競馬のルーツから近現代に至るまでの競馬の歴史に触れたり、実際に使用されているゲートシステムの体験コーナーを見たり、意外に知られていませんが外せない場所の一つです。ほかにも遊園地風の施設があり家族連れでも楽しめるなど、ギャップルとしてなく一般の来場客でも楽しめるような工夫がされています。



馬主席の左から宮川保、新谷真人、成毛誠さん。
ゆったりとレース観戦ができた。
ドレスコードがあり、皆さんスーツ姿。



アーモンドアイの初仔アロンスロット。
一番人気で、パドックでは勝てそうだったんだが…。

『白門お友達の会』のみんな元気？

高宮 洋(商) 東京都葛飾区

彼とは入学して間もない4月中旬に彼の出身高校の学園祭に誘われたのが学生時代に多く時間を過ごし、今に繋がる最初のきっかけであった。



寅さんみたいな友達にまた会いたいな

金沢駅までボックス席に座っての9時間ではきつい、そこで一計を案じた。車内はガラガラなので近くの座席シートを2・3個はずして我々のボックスの真ん中に横上げ、足全体を支えるようにした。暫くして車内検札「マズいと思ったが二度でチャント戻しておいてください」の一言のみで大目に見てくれた。

翌朝、金沢駅に到着してから能登半島へ、能登町では彼のお姉さんのご主人の実家に泊めていただき翌朝に御馳走になった水揚げされたばかりのイカの刺身は格別の味であっ

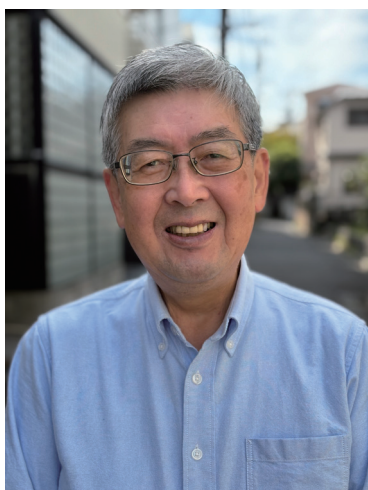
た。金沢では彼のお姉さんのお宅にお世話になり、越前海岸などを巡った後に帰京した。その後は友人グループで、その時々で顔ぶれは異なったが、尾瀬にも行った、多摩校地までのナイトハイク、講義を抜け出し雀荘へ等々、よく遊びよく遊びだった。そして彼の家にはたびたび泊めてもらった。試験直前には試験勉強？のため泊まり込んだりもした。卒業間際に京都へ一人旅、到着した日の夕方今日まで考え、夕暮れの念仏寺で石仏の写真を撮って

いると背後から「タカミヤ・タカミヤ」と名前を呼ぶ声があった(ように思えた)。だがこのあたりに知り合いはいない、聞き違ひだろうと無視していた、また同じように聞こえる、半信半疑で振り返るとなんと彼が立っていた。何の打合せも無しに場所も時間もドンピシャリで遭遇するという偶然には本当に驚いた。

翌日からは合流して一緒に京都見物し卒業式の前日に帰京した。卒業式には揃って行くということにな

駿河台校舎は大学の典型？

新谷 真人(法) 東京都新宿区



り友人のマンションに集合。翌朝は寝坊して卒業式には間に合わずとほんとに情けないオチで学生生活は終わった。

学業は脇に置いた学生生活であったが、人間関係の大切さを学んだ4年間であり、それは今も自分の中で生きている。そんな貴重な時間を共有した友人達には感謝である。

『ありがと、またゆっくり会いたいね』

があり、その周りをアーチ型の回廊が取り囲んでいます。若い学生から見ればいかにも狭く「なんじゃこりゃ」としか思えなかった印象があります。

私は、2011年から1年間ドイツに留学する機会を与えられ、旅行ついでにいくつかの大学を

去る10月19日の箱根駅伝予選会の応援に参加しました。結果は6位で何とかクリアできて、そのあとの立川での懇親会は大いに盛り上がりました。その時の昔話に、駿河台校舎の構造が話題になりました。正門を通り抜けるとコンクリートの中庭

見学してきました。すると、中大とそっくりの建物があったのです。それでハタと気がつきました。もしかして、中庭があり、教室がそれを取り囲むというデザインこそ、ヨーロッパの大学の典型的な建築なのか？そうだとすると、あの駿河台校

舎も決してバカにしたものではないかもしれない。今では懐かしき同時に、誇らしく思っています。当時の授業ですが、語学系は別として、出席などをとる先生はほとんどいませんでした。私自身はまったく不熱心な学生で、部活をするでもなく、気が向いたときに学校にでも行ってみるかというような、だらけた態度でした。当時は、激烈な極めた学生運動も終焉に向かい、半ば投げやりな気分だったのかもしれない。それでも、労働法のゼミだけは出席していました。そんな私でも、単位をもらって卒業できたのですから、幸運でもあり、また有難くも感じています。ついでながら、ほとんど授業に出た記憶はないにもかかわらず、民法、刑法等の基礎的な知識が頭に入っているのは、我ながら不思議です。大学教育とはそういうものなのかもしれません。

♪うつつに夢見る君の 神田は思い出の街「東京ラフソディ」の一節です。何のご縁か、私は2006年から日本大学法学部で教員をしています。御茶ノ水から水道橋にかけての駿河台下は、学生時代からよくうつつていました。今も、東京堂とか岩波書店その他の古本屋などをのぞいたりしながら散策しています。神保町交差点のあたりは昔とあまり変わっておらず、若いときの自分とイメージが重なって胸が熱くなります。

友の墓参り

橋本美文(経)

東京都
中野区

今夏の厳しい暑さは、殺人的な感じでやがてブラックなレトリックが巷間ささやかれるほどでした。

そんな折、友の墓参りに長野へ行ってきました。信州の暑さも平端ではありません。とはいっても、東京から新幹線で約1時間半、エアコンのきいた車内は快適で、長野電鉄の特急もゆったり過ごせて、申し分のない鉄道の旅でした。

学生時代は、高崎線から信越本線に乗り継ぐかたちで、節約しながらの旅程でした。相当な時間を要したと思います(よく覚えていません)。当時、時間はたっぷりあったのであまり気にしませんでした。

彼の郷里は信州です。2年生のころ知り合い、夏休みは彼の実家にお世話になり、畑仕事の真似事をさせてもらいました。卒業後も行ったり来たり。彼は地元で役所に就職、同じ公務員ということもあったのか、学生時代の延長のように家族ぐるみの付き合いでした。

そんな彼が、病に倒れ、薬石効なく、11年前に永久の別れとなってしまった。亡くなる2か月ほど前に、調子がいいからと、互いのつれ合いともども白馬の温泉や黒部ダムに旅したことは一生の思い出として心に



少子高齢化社会を 乗り切ろう

大谷 洋一(法)

東京都
武蔵野市



夫婦で友の墓参りに行ってきました。

毎年出生率が下がり続け、少子高齢化社会にどう対応するか日本の重要な政治課題になっています。政府や自治体は子育て支援のため子供手当の増額や教育費無償化等の施策を進めています。果たしてこれらの施策で出生率は上がっているのでしょうか。

刻まれています。病みながらも定年まで勤め上げ「百姓もいもんだ」を口癖に、ジョークを飛ばす彼を敬慕してやみません。車窓には千曲川が映っています。ゼミの合宿で野尻湖に向かうとき、

この淵を二人でテクテク歩いたことを思い出しました。今日は彼の墓参りです。コロナ禍もあり、5年ぶりとなります。奥さんと私、家内が手伝ってお墓を清め、好きだったハイライトを線香皿いっぱい、彼が咽くらいい並べてやりました。こっちは元気があったら殺人的な暑さにめげないで、来年も来るからな、とにっこり笑って言っていました。

くでしょうか。これらの施策で本当に子育て中の夫婦や未だ子供のいない夫婦が「さあ不安なく子供が産めるぞ!」という気持ちになるのでしょうか。昔から「貧乏人の子だくさん」という言葉があります。経済的に余裕が生まれれば、逆に子供の数が減るのは自然の流れです。先進国では出生率が2.0を切るものが一般的です。そもそも日本の人口が減ることは悪いことでしょうか。政府は人口減少により国内の経済規模が縮小し、国が衰退して行くことを危惧しているようですが、人口が少なくなれば食料やエネルギーの確保は少なくて済み、二酸化炭素の排出も抑えられるなどメリットもあるのではないかと考えられます。

経済は既にグローバル化、ボータレス化しており、世界の人口は増え続け、市場は拡大を続けています。国内で稼げなければ世界で稼げる産業構造に移行していけばいい話ではないかという気がします。

少子高齢化の問題として人手不足が挙げられていますが、これもアナログ社会から徹底したデジタル社会に本気で移行しようするならば解決できる問題だと思われまます。

キャッシュレス、ペーパーレス、AIの活用、ドローンやロボットの徹底活用を図れば人手不足でなく、逆に人余りになるのではないかとさえ想像します。特に書類に埋もれた役所内でのDX化や役所への申請、

最良のリーガルサービスを!!

学校法人中央大学元理事

弁護士 横溝 高至

サンライズ法律事務所

〒102-0083 東京都千代田区麹町2丁目2番36号
麹町鈴木ビル4階
電話: 03-3265-8277 / FAX: 03-3265-8278
Email: yokomizo@sunrise-law.com

増澤 繁

皆様、生まれ故郷はどこですか。
私の生まれ故郷は信州諏訪です。
今度、お互いの故郷のお話をしましょうか。

✉kayoshige8@icloud.com

若葉ガーデン 千葉県柏市若葉町 8-13
別邸 千葉県柏市常盤台 16-3-2



まずはネットで、
お気軽に閲覧を!

役所からの通知などのオンライン化を徹底すれば、かなりの公務員の数が減らせると思います。

デジタル化に慎重な人たちはサイバー攻撃や大規模停電の時に動きが取れなくなると心配しますが、既にインターネットは生活の隅々に繋がっていて、インターネットのない世界は考えられません。サイバー攻撃や大規模停電は致命的なリスクです。サイバー攻撃に対しては監視能

力の強化、大規模停電に対しては金融機関や小売業者に自家発電や蓄電池設備の設置を義務付ければ対処可能と思われま

す。少子高齢化問題は出生率を上げることで解決して行くのではなく、既得権者の根強い抵抗を乗り越えながら、産業構造の転換、デジタル社会への転換で対処すべきではないかと常々感じています。

息子が結婚しました

黒木兼一郎(商) 宮崎県 三股町

我が息子が会員の皆さんと初めてお会いしたのは、平成16年8月に開催された「納涼屋形船周遊」のイベントでした。中学一年生になったばかりで妻と三人で参加しました。原さんや山崎司平ご夫妻をはじめ皆さん方には、迷惑をおかけしながらも可愛いがっていたいたのを覚えて

います。息子が20年経って10月27日に東京で結婚式を挙げることができました。息子は残念ながら他の大学を卒業して、東京の事務所で働いていました。私の事務所で働くことになりました。

息子が東京で働いていたことやお嫁さんの祖父母がご高齢で宮崎まで来られないこと、そして友達も招待

したかったことから東京での披露宴になりました。来年の4月には宮崎でも披露宴をする予定にしています。

現在お嫁さんは仕事の都合で東京で働いています。早く一緒に生活できることを望んでいます。お嫁さんが家族へのあいさつでお父さんへの感謝の気持ち等を伝えるとお父さんが感激して涙ぐまれました。

私まで涙腺が緩んでしまい新郎方のお礼のあいさつ文を急遽変えてしまいました。

私の娘の時はそこまでなかったような気がし

ましたが、九州の片田舎に大事な娘さんを嫁がせるのは大変なことだと考えさせられてしまいました。

そんな訳でお嫁さんを急いで宮崎に呼ぶことをためらっています。昨年の8月に婚姻届けを出した息子とお嫁さんは月に一回程度東京と宮崎を行ったり来たりしています。そんな息子夫婦をみていると健気かわいそうになる時もあります。

しかし、私ももう少しで後期高齢者になります。先日は運転免許証の更新前の認知症検査を受け少し自信をなくしています。「どげんかせんといかん」のですが、あなたが良い解決法があれば教示ください。お待ちしております。

全くプライベートな文をお読みいただきありがとうございます。



前列が息子夫婦。間にいるのは長女(後列中央)の子供です。

編集人のつぶやき

広報部長 大竹 力三

私は出版社で約25年間週刊、隔週刊、月刊の漫画雑誌の編集をやってきました。週刊誌の時は締め切りに追われる毎日でした。原稿がきず掲載されない事態もたびたびありました。「作者急病のため今週はお休みです」と書かれる謝罪文の「急病」はほとんど嘘です。本当に急病の時もありますが、大体は漫画家がアイデアに詰まって時間切れで印刷に間に合わなくなったのです。これを「落」とす「落ちた」と言っていました。

私は落としたことはありませんが、減ページは何回もありました。19ページのところをネーム(漫画の設計図みたいなもの)の段階で仕上げる時間を計算して13ページとか14ページに減らすのです。残りの5とか6ページは、新人作家に前もって4〜8ページくらい描いてもらったギャグマンガなどをストックしておき、減ページになるとその穴埋めに使っていました。いわゆる代原です。代原は漫画の他に1, 2ページの広告など掲載されないかもしれないものも作っていました。そうやって何とか白いページを出さない雑誌を作っていました。

そんな編集者生活を辞めて27年もたったのに、なんとこの会報で代原を作る羽目に！執筆を約束してくれた人に締め切

宮崎からテゲ(たくさん)応援シチョルヨ(してます)!!

お気軽にご相談ください

黒木税理士事務所 所長

税理士 行政書士 黒木兼一郎

宮崎県北諸県郡三股町大字宮村1569-1
〒889-1912 (宮村郵便局南隣)

TEL(0986)51-0313 FAX(0986)51-0323

代原作りをやるなんて思ってもいなかった11月の連休でした。秋晴れの行楽日和だったみたいです。

皆さん
新年会で
会いましょう!

2025年1月25日(土)

ヘビー級の楽しい新年会に集合!!

来年は「巳年」。3時間、飲んで
話して楽しむのジャ(蛇)!!

2025年新年会のお知らせ

開催日

2025年1月25日(土)

場所

わいがや。

東京都千代田区神田神保町1-4

クロサワビル3F

電話 03-5217-0211

最寄り駅 東京メトロ半蔵門線、
都営地下鉄新宿線・三田線
神保町駅(A5出口)徒歩2分

時間

12時～15時(11時30分より受付)

会費

7,000円

新年会は3時間なので二次会はありません。

応募締め切り

2025年1月18日(土)

後期高齢者界隈の会員の皆様、コロナ禍で何となく引きこもり生活に慣れてきてはいませんか。来年は巳年です。そういう生活から蛇みたいに脱皮しましょう。
人と会って話して笑うことが、ボケ防止にも健康にも良いと言われております。
しがらみのない同期とワイワイしませんか。今度の新年会は巳年なので時間を3時間取っています。おいに飲んで食べて語り合いましょう。



会場は神保町駅のA5出口を出て左側をゆっくり歩いて2分。



入り口は少し狭いですが、クロサワビルの3階です。

編集後記

●「たぞがれ」とは、夕暮れ時に少し離れたところにいる人が誰だかわからない、「たぞがれ」という状態とか。最近では明るいときに会っても「あの人誰だっけ」と名前がわからないう。あの人、あれ、あそこ、と代名詞の多い会話になっている。人生のたぞがれもさ。 ●井 美知子 ●今回の衆議院選挙は期日前投票で投票しました。毎回の選挙で言われることはその投票率の低さですが、期日前投票が認められるなら本来の投票日も1日に限定せず、特別の事情の有無にかかわらず、一定期間の投票率もOKとすれば投票率は上がると思うんですが。(大谷洋二) ●新型コロナウイルスの定期接種が十月から始まった。すでに打ち終えた、打たない、迷っている。接種の判断は各人各様だろう。公費接種と異なり今からは基本的に有料。費用は自治体により異なり無料のところもある。一部に懸念の声もあるが、受けるべきだろうか。(宮川 保) ●49号をお届けします。今号はバタバタしました。締切間際の執筆依頼にも拘らず快諾して頂いた皆様ありがとうございます。次号は50号です。49号創立から年2回発行し続けることができたのは会員皆様のご協力の賜物だと感謝です。皆様よいお年をお迎えください。(大竹力三)

広告募集

この会報を作る費用の一部を皆様からの広告収入で賄いたいと思います。1段の半分のスペースを5千円で提供いたしますのでご利用ください。
会社経営者、事務所経営者の方、著作出版・ユーチューブ案内、個人的な宣伝やメッセージなど、公序良俗に反しない広告をお待ちしております。
原稿のデータがなければ広報部がお手伝いたします。
お申し込み、ご相談は事務局までにご連絡ください。

ハードな事案からソフトな悩みの解決まで

～親愛 正義 智恵 勇気～

中央大学元理事

弁護士

山崎司平

銀座ライツ法律事務所(第二東京弁護士会)

〒104-0061 中央区銀座3-10-9 共同ビル6階

TEL: 03-3546-0281 / FAX: 03-3546-0280

E-mail: yamazaki@ginza-rights.jp